

第114話 晋道渭川

中山町歴史散策

晋道家は、長崎元町にあって、古くからの開業医です。近村からも「渭川様」として知られた医者屋敷で、元々漢方の医家でした。

二代渭川は越後の生まれですが、江戸の佐藤宗春、太田三英（長崎中町太田家の出といわれている医師）と親交があり、その後晋道渭川の門を叩いたといわれています。

長崎元町に高さ2mほどの顕彰碑があり、その碑の背面に次のような銘が刻まれています。

中に先代渭川が亡くなり、家人は先生の非凡なることを知り、晋道家を継ぐべきことを乞われたが、固辞するも遂に願いに折れ渭川の名を継ぐことになった。

先生は書筆にすぐれ、筆を習い教養を高めんと望む人数百人に及んだ。

元治元年甲子年霜月十三日 我らはその徳を奉じ、恩に報いるため、石を建て名を万世に残さんと思う。

この碑が建立された頃、二代渭川は、軽い脳溢血の後遺症で、半身不自由ながら往診される姿があったといわれています。

【用語の説明】  
豪族：その土地に長く住み、広い土地や大きな財産を持ち強い勢力を張る一族のこと。  
先達：案内者、指導者のこと。

※引用 中山町史 中巻 第9章第4節 疫病の流行



まちづくりへの第1歩



桜町地区は、町中心部に位置する、人口737人（226世帯）の地域です。（平成28年8月末現在）

桜町地区

桜町地区で30年続く子どもみこしが8月4日に行われ、真夏の太陽が照りつける中、子どもたちが地区内を練り歩きました。

この行事は、桜町町内会の役員を中心に、若者会、若者会OBで作る盛桜会、若妻会、子ども育成会といった様々な組織が

協力して実施しています。

暑さへの対策や、交通安全、歩くコースの調整や子どもたちのまとめ役、救護など、それぞれの役割を分担し、2か月近く前から準備を重ねてきました。

地区の方々もこの夏のイベントを楽しみにしており、暑さに負けずおみこしを担ぐ子どもたちに、沿道からは「がんばれ」と声援が送られていました。

桜町町内会の工藤英昭会長は、「みこし担ぎの主役の子どもたちが暑さでやられないように、休憩場所やコースに頭を悩ませました。地区のいろいろな組織の方々が協力してくれるおかげで実施できています。伝統あるこの行事を絶やさないようにこれからも力を合わせていきたいです」と継承に意欲を見せていました。

「やってみっぺ」活動支援補助金活用事業 平成27年度実績をお知らせします

中山町「やってみっぺ」活動支援補助金は、公益活動を行う団体の成長・発展を支援する補助金です。中山町地域コミュニティ活性化促進委員会で事業計画書などの審査会を経て、平成27年度は8団体が採択されました。そのうち、1団体が事業申請を取り下げたので、下記7団体が事業を実施し、補助総額は1,328,000円でした。事業内容については次のとおりです。今年度の採択状況については、広報なかやま7月15日号をご覧ください。

※お問い合わせ先 政策推進課地域情報グループ ☎662-2223

活動支援補助事業／団体名	平成27年度の活動実績
桜並木（豊田小学校前）のライトアップ ／グループ662	豊田小学校グラウンド脇の桜並木のライトアップと、焼きそばやだんごの売店を設置しました。ライトアップ期間中は、幻想的に浮かび上がった美しい桜を愛でようと、多くの人が訪れ、テレビ中継されるなどして、町のイメージアップにもなり、大変盛り上がりしました。
高齢者の介護予防活動 ／中山町シニアサロン「まじらっしゃい」	高齢者の閉じこもりを予防し、介護の必要ない身体づくりを行うため、週に1回、中央公民館を会場に開催しました。実施回数59回、参加者数は延べ1,062人となりました。健康講話、転倒予防体操、体力測定などを継続的に実施することで多くの町民の健康づくりに効果がありました。
長崎小学校の児童に農業体験や食育の育成事業 ／石ころ会+	長崎小学校の児童たちに農業を通して農産物を育てる楽しさなどを体験してもらおうと、田植え体験、トラクター試乗会、収穫体験などを行いました。子どもたちに農業の楽しさ、大変さを伝えることができました。
路上にプランターの設置事業 ／いずみFの会	「ゆ・ら・ら」や「総合体育館」等の公共施設を利用する町内外の方々の通り道であるいずみ地区の道路脇に、美しく植栽したプランターを設置しました。手入れの行き届いた花々が、道行く人々の目を楽しませ、町のイメージアップが図られました。
カブト虫ハウスの運営 ／中山町カブト虫ふれあいクラブ	カブト虫ハウスを設置し、子どもたちが自然のカブト虫に触れる場を設けました。町内外から多くの親子連れが来場し、カブト虫の幼虫に直接触れて、感動を体験しました。自分で育てた成虫で「全国カブト虫相撲大会」に参加したお子さんもいて、カブト虫で町を盛り上げました。
折り紙の折り方の指導とアドバイス ／おりがみおたすけ隊	4月から1年間、月に1回、中山町図書館「ほんわ館」で「おりがみおたすけ隊コーナー」を設け折り紙の折り方を指導しました。長小祭やほんわ館の夏まつりにも参加し、多くの人に折り紙の楽しさを伝え、折り紙を通じた世代を超えた交流が図られました。
柏倉九左エ門家前に紅花栽培 ／中山紅花保存会	柏倉九左エ門家前に、紅花を栽培し、柏倉九左エ門家を訪れる観光客等に景観の美しさをPRしました。また、写生大会や写真展を開催し、多くの来場がありました。紅花の花びら入りの羊羹を開発し、新たな特産品づくりにも取り組みました。

芋煮会PRポロシャツをリニューアル

中山町が「芋煮会発祥の地」であることを町内外にPRするため、毎年開催している「元祖芋煮会in中山」に合わせ、町の施設や協力事業所において、9月29日まで業務中にイベントPR用のポロシャツを着用しています。

この活動は平成23年度から行っており、6年目の今年はデザインをリニューアルしました。

これまでと同じく、ポロシャツの色はオレンジ。町の花ひまわりからイメージカラーを黄・オレンジとし、また、山並みを白で描き、町営バスや窓口封筒にも採用されているデザインを取り入れ、統一感を出しています。また、ロゴには、鍋掛松にさがった芋煮鍋をイメージさせるイラストが描かれています。



リニューアルしたポロシャツ